

研究課題名:精神神経科における電気けいれん療法適正化に向けた
薬剤師による取り組みに関する研究

患者さんの医療情報の研究利用について

電気けいれん療法はうつ病や統合失調症の患者さんに行われる治療法の1つです。頭に電極を設置し、電気刺激を与えることでけいれんを引き起こして治療効果を得えます。そのため、けいれんを弱めてしまうようなお薬は電気けいれん療法を行う前に中止が推奨されています。しかし、病気の種類や状態によってはお薬を中止することが困難な場合があります。

そこで、けいれんを弱めてしまうようなお薬を飲み続けた患者さんの電気けいれん療法の治療効果や有害事象発現状況について調査し、電気けいれん療法による治療がより安全にできるように検討する必要があると考えました。

研究対象となるのは、北里大学東病院の精神神経科で2012年4月1日から2017年2月28日までに電気けいれん療法による治療を受けた患者です。性別、年齢、病名は問いません。

本研究で調査する項目は診断名、血液検査結果、処方薬の使用状況などで、すべて既存のデータのみとなります。また、これらの情報を分析・保存する上で、全ての患者さんは匿名化され、氏名などの個人情報は一切公表されることはございません。収集したデータは、当院薬剤部で分析され、外部に漏れることのないように厳重に管理されます。

本研究に医療情報を提供することを拒否されたことで、患者さんに対して不利益が生じることはありません。

今回の研究で得られた結果は、個人が特定されないかたちで、学会や学術雑誌などに報告されることがあります。本研究の調査対象に該当する患者さんで、調査への診療情報の提供に同意されない方はお申し出ください。また、本研究に関して、質問などがございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

〒252-0380 神奈川県相模原市南区麻溝台 2-1-1

北里大学東病院 薬剤部

研究代表者 薬剤師 飛田 夕紀

研究協力者 薬剤師 赤嶺 ちか江

電話番号 042-748-9111(代表)